



しりょうかんだより



No.8

きょうどしりょうかん 郷土資料館では、12月7日(日)まで特別展「白瀬中尉の南極探検」を
 かいさい 開催しました。かいじょう 会場で、白瀬中尉ポイントラリーをおこないました。これは、
 ポイントを探しながら、白瀬中尉の南極探検にまつわる話や、白瀬中尉がど
 んな人だったのか、わかるものです。
 332名の人がちょうせん 挑戦してくれました。

ポイントラリーをとおして、「しらせち
 ゆういがとよたでなくなったなんてはじ
 めてしまった。」「カラフト犬のねぶくろは
 あたたかいのかな。ぼくもねてみたいな。」
 など、いろんな感想がよせられました。



ポイントラリーのようす



とよたのれきし(中世3)

むろまちじだい (室町時代2(戦国時代): 1467年~1573年)

むろまちばくふ 室町幕府の力が弱まり、おうにんがんねん 応仁元年(1467)京都で戦いが起こりました。こ
 の戦いは11年間つづき、地方でも幕府のとうせいりょく 統制力が乱れ、戦いが多く起こりま
 した。鈴木氏・みやけ 三宅氏など中条氏の家臣として勢力を伸ばしていた有力な武士
 は、こうした戦いの中で、より力のある者が勢力を拡大していきました。京都
 にきよてん 拠点置いていた中条氏の勢力は次第におとろえ 衰え、えいろく 永禄4年(1561)織田信長に
 こうげき 攻撃されてめつぼう 滅亡しました。

一方、まつだいらごう 松平郷では、松平氏が勢力をのばしていました。室町時代の初め頃、



国指定史跡 松平氏遺跡・館跡

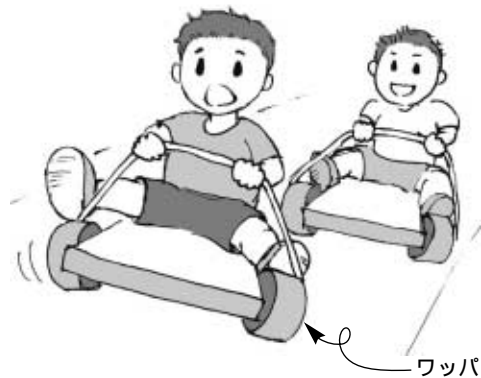
初代松平親氏は24人の家臣に24の道具
 を持たせて領内の道を開き、橋をかけ、
 人々を助けたと伝えられています。3
 代信光は西三河一帯を勢力下に治めま
 したが、室町時代の終わり頃には、松
 平氏の勢力はおとろえ、豊田市地域も
 武士たちの戦いの場となっていしまし
 た。

おかしのあそび —ゴット車—

明治から昭和にかけて松平地区にはガラ紡という仕事がありました。その頃は電気がまだなく、機械を動かすために水車を利用していました。ガラ紡の機械を動かすためには、大きな水車を勢いよく回す必要があります、川の落差がある水の豊富な巴川支流の郡界川や仁王川、滝川沿いに、たくさんの工場ができました。

このころの子どもの遊びに、ゴット車がありました。どうしてゴット車というのかはわかりませんが、ゴット車で遊ぶ道は舗装されていないので、小石やデコボコで車体がゴトゴトときしんだからなのでしょう。ゴット車には、ガラ紡の工場ですらなくなったワッパを使います。廃材の板を車体にし、木の枝を削った車軸をつけ、ワッパを通すとゴット車の出来上がりです。簡単な構造ですが、いろいろな工夫がしてあります。手綱と両足で前輪を操作しながら、体を使ってうまくバランスをとって遊びます。バランスが悪いと転んだり、運が悪いと壊れてしまいます。乗り心地のよいものではありませんでしたが、風を体に受けて坂道を駆け下るスリルは、レーシングカーやゴーカートにも負けない楽しさがありました。

昭和時代の後半になり、ガラ紡が行われなくなると、ゴット車もこどもたちのあそびから消えてしまいました。



民 具

M I N G U

すみび 炭火アイロン

炭火アイロンは炭火（木炭でおこした火）を使って服のしわをのばすものです。炭を入れるために中は箱型になっていて、上はあけしめできます。炭が消えないように空気穴と煙出しがついています。

郷土資料館の民俗資料館に展示してあるのでみなさんぜひ見に来てください。

しりょうかんだより No.8

平成15年12月7日発行

編集・発行 豊田市郷土資料館

〒471 0079 豊田市陣中町1 21

でんわ 0565 32 6561

URL <http://www.toyota-rekihaku.com>

E-mail rekihaku@city.toyota.aichi.jp

郷土資料館では、みなさんが住む豊田市の歴史を紹介したり、大事な資料を集めたり、遺跡の発掘調査などを行っています。